

錬 鍛

題字 鍛練 揮毫 今治・越智教育会OB 村上 将士 解説は3面



発行所
(公財)愛媛県教育会
〒790-8545
松山市祝谷町1丁目5-33
エスポワール愛媛文教会館内
電話 (089)945-8644
FAX (089)945-1459
E-mail info@ehime-kyoukukai.jp

- (2) 学校紹介 三崎中学校
- (3) 地区教育会だより(八幡浜ローカルトピックス)
- (4) (5) 特集「私の健康法」
- (6) (7) 特集「初任者の声」
- (8) ふるさとスケッチ

学習指導要領改訂と アクティブ・ラーニング



愛媛大学大学院教育学研究科教授
白松 賢

次期学習指導要領改訂をめぐり、様々な声(主に不安)を聞くようになりました。急増したのは、アクティブ・ラーニングに関する研修や相談の依頼です。

「教育課程企画特別部会における論点整理」では、「子どもたちが『何を知っているか』だけではなく、『知っていることを使ってどのような社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか』という〈学びに向かう力〉を強調し、アクティブ・ラーニングの意義が示されています。アクティブ・ラーニングは学習に活動を入れるというような「型(方法)」ではあり

ません。①深い学び(習得・活用・探究)、②対話的な学び、③主体的な学び(見通しと振り返り)の三つの視点です。まず、二つの事例から、その視点にたつて教育実践や授業の問題を示します。第一は「朝学習」の実践です。学力向上において「朝学習」を取り入れている学校の場合、一見、型としては「主体的な学び」を保障しているように見えます。しかしながら、その時間を設定しないと学習がなされないとすれば、それは「主体的な学び」でしょうか？

第二は、小中学校における授業での学びについてです。 「深い学び」とは「習得・活用・探究」の三つの過程が想定されています。「できた」「わかった」という声を引き出した上で、「考える」時間が設定されているでしょうか？ アクティブ・ラーニングは先に示したように、方法論(型)ではありません。むしろ、「学び続ける教師」として、不断に授業改善やカリキュラム改善が求められていることを意味します。すなわち、学校や先生方の授業や指導の在り方を問い直すための視点です。

教科の授業は嫌いだけど、テストの点は高い。このアジア型の過剰なテスト得点主義から、授業も深く面白く、「できた」「わかった」「しっかりと考えた」が保障される。この教育への転換が求められています。テスト学力全国十位以内ではなく、「学びに向かう力と人間性」世界一位をめざしたいものです。

あ東北大震災から、早や六年目の春を迎えようとしています。震災直後、テレビ・ラジオから次のような詩が流れていました。「心」は見えないけれど「心づかい」は見える。「思い」は見えないけれど「思いやり」は見える▼この詩は、「ジングルベル」の作詞者である、宮澤章二さんの「行為の意味」という詩の一節を改変したものです。宮澤さんは、高校の教員をしながら、詩人、作詞家としても活躍されました。この詩には、「心」や「思い」は誰にも見えないけれども、それを行動で表した「心づかい」や「思いやり」は誰の目にも見える。ただ思っているだけでなく、そのことを行動に移すことが大切である。というメッセージが込められています▼震災後他県に避難した福島県の子どもたちが、根拠のない理由でいじめを受けたという報道に心が痛みます。相手の立場に立ちきり、思いをめぐらせることができれば、そのようなことは起こりえませんか▼大人も子どもも、大震災から学んだことを毎日の生活の中で行動に表すことが大切です。震災で亡くなった方々の思いを受け継いで。

響きょう聞きこ

一 略 歴
・山口県防府市出身
・広島大学大学院教育学研究科修了
・平成12年 愛媛大学教育学部に赴任(現在に至る)
・平成28年 中央教育審議会教育課程部会特別活動WG委員

ひとこと

二分の一人式



愛媛県小中学校長会
副会長
花本 光典

今年も学習発表会の季節がやってきました。鶴島小学校では伝統的に四年生が「二分の一人式」の発表をしてくれます。なぜ四年生かというと、当然十歳を迎える学年だからです。それがなかなか泣かせられるのです。

「僕は生まれてすぐ入院をして、お母さんやみんなを困らせました。点滴がかわいそうでたまらなかった、とお父さんが言っていました。でも、今は元気一杯です。柔道も頑張っています。小さい時もらった賞状が、今は全然取れないのがくやしいです。こつこつ努力して強くなりたいです。育ててくれてありがとう。まっすぐ正直に、何事も一生懸命できる大人になります。」
「私の十歳の決意は、みんなにやさしくすることです。私はすぐ怒ったり、物に当たったりしてしまうので、そのくせを直してみんなにやさしくしたいです。二つ目の決意は、少しでも大人に近づくことです。私は、いつも家でわがままを言ってしまったて、迷惑をかけているので、わがままを言わず譲り合いの気持ちを増やしていきたいです。」

「私は漁師になりたいです。網の漁にも行けるし、まぐろの解体もできるからです。おいしい魚も食べられるからです。わたしのお父さんは漁師です。お父さんと船に乗り、お父さんにいろいろ教えてもらっていい漁師になりたいです。」

今年の子どもたちの発表の一例ですが、「自分史、十歳の決意、将来の夢」の三部構成でできています。自分を見つめ今まで育ててもらったことに感謝をする、そして、夢をみんなの前で発表し、こつこつと努力を続ける、そんな経験が大人にも子どもにも大切なことだと思っています。

(宇和島市立鶴島小学校長)

学校紹介

No.176

伊方町立三崎中学校

人と地域との交流活動を通じて

三崎中学校は佐田岬半島の先端部、伊方町三崎地区にあるへき地一級の小規模校です。四十四名の素直で誠実な生徒たちは、海や山の美しい自然と温かい人情あふれる地域性に包まれて学校生活を送っています。近年、中学校と二名津中学校との統合で校区が広がり、毎日四台のスクールバスが二十名の生徒の登下校を支えています。

本校の教育活動の特色として、人や地域とのかかわりに重点をおいた様々な交流活動があります。その一つが東日本大震災をきっかけに始まった被災地の気仙沼市立大谷中学校との交流です。震災の年、千羽鶴とともに応援メッセージを届けた「おりづるの旅プロジェクト」がさらに発展し、全校生徒の手によって春に地元の伽藍山に薩摩芋の苗を植えて育て、秋に収穫した芋をメッセージとともに大谷中に届ける「さつまいもプ

生徒たちに引き継がれてきています。

ロジェクト」、また、二月には家庭や地域の方のご厚意で持ち寄った特産品の柑橘類を届ける「オレンジプロジェクト」があります。大谷中学校からも被災から復興させた「ふゆみずたんぼ」で収穫した貴重な米の「大谷っ子米」とメッセージが届けられ、全校でおにぎりを作って味わう「大谷っ子米集会」を行っています。これらの遠く離れた宮城と愛媛の中学校間の活動は、相手のことを思いやる心の交流活動としてその年々の



さつまいもプロジェクト

また、本校は身近な地域の方々との交流にも積極的に取り組んでいます。総合的な学習の時間を活用した地域密着型高齢者福祉施設の「三崎つわぶき荘」や「三崎保健福祉センター」への訪問活動、地元事業所での職場体験、地域の高齢者の方と縄作りやいろいろなレクリエーションをして交流する三崎地域交流会、様々な地域イベントでの合唱発表など、生徒たちはこれらの交流活動に大変意欲的に取り組んでいます。地域の人との出会いを大切に、地域の方々に励まし喜んでいただくことは本校の交流活動の意義であり、よさです。そして、これらの交流活動が生徒たちの思いやりの心を育て、人とのコミュニケーション能力を高めるとともに、将来ふるさとを大切にする心情や思いにつながることを願っています。

(校長 井上 浩)

題字に寄せて

鍛練



今治・越智教育会 OB 村上 将士

「鍛練とは、例外なく続けることである。」

これは、私の学生時代、教育心理学の講義で教授が口にしていた言葉である。それ以来私の心の中に根付き、事あるごとに励まされてきた。

しかしながら、私の教職は決して満足できるものではなかった。担任した子どもたちは、二年か三年すれば去っていつてしまう。実に後悔の連続であった気がする。

喜寿を迎えた今、少しだけ思い当たる事もある。それはPTAの書道教室だ。研究会を契機に始めた活動だったが、四十年を過ぎた今も続けている。私も可能な限り応援団旗を振り続けるつもりだ。

地区教育会 だより

八幡浜教育会

慶祝者 祝賀懇親会



八幡浜教育会 OB 野本 益市

私たちは、毎年慶祝者祝賀懇親会を開催している。今年度は、卒寿の方四名と傘寿の方七名が対象者である。

昨年十一月十九日、合計六十四名の会員が参加して祝賀会を開催した。対象者の内、参加者は傘寿の男性の方々のみの六名であった。

最初に、会長が一人一人お一人を参加者に紹介した。

皆さんの経歴は、小学校、中学校、行政等様々で、退職してからは、教育長、公民館長、民生委員、社会福祉協議会役員、美術界の要職、町議会議員等多彩。また、将来のプロ野球の選手を育てた方、長年教育行政に携わってきた方、学校や公民館の「建築に

縁」があつた方等、色々なエピソードを披露された。

この後は、皆さんから一言ずつお言葉をいただいた。共通して述べられたことは、教員生活の思い出、健康づくりの大切さ、現在と将来の生き方等であつた。

聞いている会員としては、含蓄のある話には教えられるものが多かつた。

参加される慶祝者は、一名ずつではあるが、毎年増えていて、喜ばしい限りである。

次は、十年後。ぜひ九十歳の卒寿の祝賀会に、全員参加して頂きたいと思つた。

慶祝者と会員は、既に人間関係が出来ている間柄でもあり、懇親は盛り上がった。



ローカルトピックス

町の象徴

「内子座」百年



内子町の木造芝居小屋、内子座が創建百周年を迎え、国の重要文化財に指定された。芸能が盛んだつた時代の、芝居小屋としての歴史的価値が評価されたのである。三十数年前は、老朽化で取り壊される可能性もあつたが、今では改築され、内子座を象徴する歴史的文化財として、人々に愛される存在になつている。内子座は左右対称で外観の正面性が強調されたデザインである。和洋建築の両方の良さを取り入れ、採光のための

ガラス窓が多く、開放感がある。東西棧敷席上の壁は薄桃色で温かみがあり、「芸事は色っぽくなまめかしい感じがしないとね。」とは、改築工事担当者の弁である。過去には宇野重吉さん一座。人間国宝の落語家、桂米朝さん。中村勘三郎さんも訪れた。現在も野村万蔵さんらの狂言で賑わい、小中学生も稽古に集う内子座。文化発信の拠点としての役割が、未来へと続く。

文教月報編集協力委員 山本 裕司
内子町立川小学校長

教育積立預金「愛情」

お子さまの成長に合わせて金利も成長！
お子さまの未来のために積立をはじめませんか？

「愛情」の3つのポイント!!

- ステップアップ金利**
おまとめ日を経過する毎に金利を段階的に上昇
- 教育ローンの金利がお得**
教育ローンの金利が店頭表示利率から引き下げ
- 入学一時金受取システム**
ご希望により一時金として一部お引き出し可能



※写真はイメージです。

●詳しい内容・お問い合わせはお近くの(いよぎん)の窓口または
いよぎんテレホンセンター ☎0120-64-1414
受付時間/9:00~20:00(銀行休業日は除きます)

Challenge & Smile
伊予銀行
(平成27年2月1日現在)

特集 私の健康法

西中健康法に学ぶ



西中三島市中央国
論教飯尾裕之

昨年度は「今年度ももうすぐ終わり。」というところで体調を崩してしまいました。

「今年こそは心身ともに健康に学校生活を送りたい。」と思っているところですが、なかなか時間に余裕もなく、どうしたものかと思っていた今日このごろ。そこで、お元気に輝いていらっしゃる西中の先生方に健康法を尋ねてみることにしました。

まず、食事に気をつけている先生方がたくさんいました。「毎日野菜とヨーグルトを取る」「一日の摂取カロリーを考えると食べる」「きれいな別子の水を飲んでいる」など、食事を改善することは少しの工夫で実践できる健康法かもしれませんが、食事を取る際には、野菜から食べると急激に血糖

値が上がらないそうです。

また、ストレッチを溜めないことは心の健康法です。「温泉に行く」「カフェに行く」「美術館に行く、感性を磨く」「忙しくても家族の時間を大切に」など日常とは違う場所に行くことも大切ですが、運動は時間がないから、と

思っていた私ですが、「週三回は五キロのジョギングをする」「サウナで汗を流す」「プールで六十分ウォーキングする」「毎朝三十分犬の散歩に出掛ける」「毎朝歩いて出勤する」など日頃から気をつけて運動をされている先生もいました。

普通の生活を少し工夫することのできる健康法もあれば、たまには休日を自分の健康のために使うのも大切かもしれません。これからは毎日笑顔で生徒たちの前に立つことができるよう、先輩方に倣い自分の健康管理に気をつけ

いつでもOK!



新居浜教育会OB
日野操子

定年退職後、ウォーキングサークルに入会して毎月一回の割合で新居浜市内をはじめ愛媛県内・県外と日本各地の名所旧跡を歩く活動に参加。

新しい発見や感動を受け、充実した毎日の十数年を経過したところの五年前、腰に痛みを覚え、歩くのも大変になり病院の受診で「脊柱管狭窄症」の診断で注射、薬を続けても効果はなく、痛い痛いの毎日でした。

そんな時、西洋医学が駄目なら東洋医学（中医学）をと勧められ、鍼治療を開始することになり、週一回の通院で半年間、通院を続けると痛みがとれてきました。

西洋医学では病気の原因を特定し、投薬や外科治療で原因を取り除くが東洋医学では体の免疫力を高め、自然治癒力の向上を図るという違いがあります。

筋力をコツコツ蓄えないとすぐに衰えます。筋力はすぐにつくわけではないので八十歳を目の前に、毎日、腰や足のためにスポーツジムで水中ウォークに励んでいます。

あった。激痛に襲われたのは家庭訪問二日目の朝。すぐさま入院を余儀なくされた。全身麻酔の開腹手術であったため、入院当初は術後の痛さや苦しさがあった。それが慣れてくると今度は食事制限、病院独特の薄味の健康的な食事に悩まされた。とにかく、いろいろな面で当たり前だと思っていた生活、健康であることのありがたさを身にしみ

「自分の足で歩けることは最高の幸せである」
好奇心旺盛な性格の私は、いつ声がかかってもOKできるように、夏には二回目的のスポーツの更新もすませていた。「一月に上海・蘇州・無錫に行かない？」とのお誘いがあり「行く行く」と即答。退職後の海外旅行〇〇回目。ウォーキングサークルのお陰で、佐渡島と沖繩を歩くと日本全国を制覇できます。教養↓今日用がある
教育↓今日行くところがある
貯金↓貯筋も大事

健康寿命百歳を目指して、きょうよう・きょうういく・ちよきんに励み、いつでもOK!

健康第一

松山市河野小
教頭 藤岡 和人

二十年前に胆石症を患い、一か月半入院をしたことが

あれから二十年。今年、運動会のリレーに教員チーム第三走として軽い気持ちで出場した。競技が始まってみると皆、本気モード。流れに任せて走った結果は見事に肉離れ。しばらく大腿部裏側が赤黒く腫れていた。入院するほ

どではなかったのが不幸中の幸いだった。しかし、最近では、今まで何とか乗り切れていたことも少しずつ不安を感じるようになった。改めて意識した。「健康第一。」その後、万歩計をつけ、一万五千歩。無理な食事制限はせず、規則正しい食生活を心掛ける。青虫のように野菜を摂り、肉よりも魚。適度なストレスとアルコール。今一度、二十年前のことを思い出しながら、地味に続けていきたい今の健康法である。

バランスを整えながら



大洲市教育会
OB
矢野 順子

様々な情報を手掛かりに自分に合う体操を続けるほか、健康効果が期待できる酢玉ねぎや酢しょうが等を常備し、使い方や味を工夫しています。更に毎日欠かせない味噌を

「メニュー」「ドゥー」格技室いっぱい気合のこもった声飛び交います。なぎなたを始めて十数年、毎週一回の練習は、集中力や体力作りにつながり達成感も味わえます。先生方の良きご指導の下、仲間の皆さんにも恵まれ、他の趣味と共に楽しみながら元気で継続できるとに感謝しております。

特別な健康法ではありませんが、私は体重を朝晩計測し、それをもとにして運動と食事や休養のバランスを整えるような心がけています。また長年自転車愛用し、

始めいろいろなお茶作り、自家栽培の野菜や果実・キノコ等の活用を、旬の香りに包まれながら毎日続けています。これら手作りの物や、体に合う食材・調味料・調理法で、カロリーや栄養バランス等にも配慮した食事を大切にしています。

六十代最後の年に、夫婦で念願の富士山頂に立てたことは心に残る良い思い出です。でも最近、事ある毎に体力の低下を感じるようになりました。無理をせず、程よいケアが大切だと実感しています。免疫力アップに努めると共に、体調の変化には早めに適切な対応を心がけたいものです。日々のささやかな喜びを励みに、自分なりの目標に向かう日々を重ねていく為に

命を延ばすために、三つのことをしている。一つが、バレエ教室のストレッチコースに週一回通っていること、二つ目が、毎朝教育テレビのテレビ体操をしていること、三つ目として、毎日朝日新聞の『天声人語』を書き写していることである。

を感じることもあり、ストレッチコースだけにした。わたしが通っているストレッチコースには八十歳の人がいる。その人は、ストレッチコースに二十五年通っていて、足腰がしつかさかされている。年を重ねていっても足腰はしっかりしていたいと思っっているわたしにとっては、その人はいいモデルである。その八十歳の人を目標に頑張ろうと思っ

祝 受章おめでとつございます

◇瑞宝双光章（高齢者叙勲）

- | | | | |
|--------|-----|---------------|-----|
| 名本 昭一様 | 88歳 | 元松野町立松野西小学校長 | 松野町 |
| 河野 禮一様 | 88歳 | 元野村町立大和田小学校長 | 西予市 |
| 藤原 謙一様 | 88歳 | 元大三島町立大三島中学校長 | 今治市 |

バレエ・テレビ体操・天声人語



宇和島教育会
OB
稲田 良子

わたしは今現在、健康寿

た。ジャズコースでは、前半バレレッスンをし、後半は音楽に合わせてジャズダンスをしていた。五十歳のわたしにはとてもハードでついていくのが精一杯だった。しかし、前からしてみたいと思っっていたバレレッスンは、とても楽しいものだった。心の中では自分がプリマになった気分で、練習をしていた。バレエ教室に通うようになってよかったことは、姿勢を意識するようになったことである。六十歳になって体力の限界

冠婚葬祭事業 (株)ベルモニーのご案内

愛媛県学校生協は(株)ベルモニーと提携店契約を結んでおります。冠婚葬祭のご利用お申し込みの際に学校名と組合員様のお名前をお伝え頂きますと、割引などの特典が受けられます。



(他団体との併用はできません。)

お問い合わせは

愛媛県学校生活協同組合連合会
電話 (089) 925-0555
または 郡市学校生活協同組合

特集 初任者の声

平成二十八年度小中学校の新規採用教職員は合計二百二十九人でした。内訳は、小学校百四十八人、中学校七十一人で、教諭が小学校百十七人、中学校五十九人、養護教諭が合計十四人、栄養教諭が合計三人、事務職員が合計二十六人です。

教職経験が初めてという初任者も不安を乗り越え、教育現場に若い息吹を吹き込んでいます。

学校現場での先輩・後輩、OBも含めての教職員仲間としての先輩・後輩、共に歩み、育つてゆくことを願っています。

大切なもの



北江川市中央
教諭 日浦 柔

子どもたちにとっても、私にとっても、共に過ごせるたった一度きりの一年間。そんな思いをもちながら、二年生三十六名の学級担任とし

て、私の教員生活が幕を開けました。この約十か月間を思い返してみると、真っ先に思い浮かぶのは、クラスの子どもたちと共に過ごした日々。どこにいても、何をしていたも、一番に顔が浮かんでくる毎日です。そして、苦しいときを支えてくれたのも学級の子どもたちでした。

毎日、共に過ごす中で見られる成長。失敗を繰り返しながらも学び、変わろうとしている子どもたちの姿を見て、「私も一緒に。」と気持ちを改めながら一歩一歩進むことができました。四月に子どもたちと初めて出会ったとき、「私自身の素直な気持ちを伝えていきます。」と言いました。

私の言葉を受け止め、一緒に頑張ってくれる子どもたちの姿は何よりもかけがえのない原動力になっています。

子どもたちに何かを与えられるような器の大きな先生になるには、まだほど遠いけれど、子どもたちと過ごす毎日を愛おしく感じながら、私の教員としての日々を積み重ねていきます。そして、今関わっ

ている子どもたちと教員としてのスタートを切った川之江北中学校を大切にしていきたいです。

子どもたちと 今を生きる



小川市生
教諭 西条 薫
吉田

教師ほど魅力的な職業はない。そして、教師ほど責任のある職業はない。なぜなら、未来を生きる子どもたちを育てているからだ。未来を生きるということとは、今を生きるということである。

私は今、総合単元的な道徳学習「生きているということ」を進めている。これは各教科学習との関連や、芸術家、作家、研究者、戦争体験者など「本物」と触れ合う体験を通して、生きているとどういうことかを考える学習である。この学習の中心教材は『ちいちゃんのかげおくり』で、作者はあまみきみこさんである。私は授業をするに当たり、子どもたちの書いた手紙を手に、あまみきみこさん本人に会いに行った。そして、今を生きる

勤め、学ばん



小後市道
教諭 山内 依美

子どもたちに伝えたいことをお聞きし、後日お手紙もいただいた。そうした一連の活動は、子どもたちだけでなく、私自身も保護者の方々も共に生きていることを考える機会となった。そして、大人の生き方がそのまま子どもたちの生き方へとつながっていくのだと気付いた。私たち教師は真剣に自らの生き方を考え、姿で示さなければならぬ。教師になってまだ間もない私に、多くの挑戦の機会を与え支えてくださった諸先生方への感謝の心を忘れず、どこまでも子どもたちと共に学び続け、今を生きていきたい。

四月から、初任者としての新たな日々がスタートしました。なかなか思うようにいかず、悩むこともたくさんありましたが、周りの先生方や子どもたちに助けられ、何とか乗り越えることができました。子どもたちの成長を間近で

大きなパワー



中松町前
教諭 土井 あずさ

初めて教壇に立った日から十か月が過ぎた。これまでの日々を思い返すと、毎日が子

感じられる教師という職業の素晴らしさを、この一年で改めて実感しました。子どもたちの「分かった!」「できた!」という言葉や笑顔が、私のパワーの源です。日々成長し続ける子どもたちを見てみると、「もっとこうしたい。」という気持ちが高まることもに、自分の未熟さを痛感します。その度に、さらに研修を重ね、教師としての力を向上させなければならぬという思いを強くしています。

四月から、たくさんの方々に御指導をいただきました。また、子どもたちは「学校が大好き。」と言ってくれています。その思いに答えるためにも、学び続ける姿勢を忘れてはなりません。道後小学校の校歌にある「勤め、学ばん」の姿勢で、学び続ける教師でありたいと思います。

どもたちとの思い出で溢れている。

秋の運動会。一年生三学級のうち、両隣はベテランの学級担任の先生。学級対抗種目の練習では、私の学級は毎回最下位。反対に、隣の学級では、先生が生徒を上手にやる気にさせ、様々な作戦でどんどん上手になっていく。私は自分の無力さを感じながら不安な気持ちで本番を迎えた。ところが、そんな私の不安をよそに、子どもたちは練習では見せたことのないような強さを発揮し、優勝を果たした。万歳する生徒の隣で誰よりも喜んでいたのは私だったかもしれない。

学級経営や教科指導において、うまくいかず、悩んだ時、先輩の先生が言葉を掛けて下さった。「先生が頑張っている。子どもたちも応援してくれる。」生徒や学級が変わって欲しいと思うのではなく、まずは私が変わらなければ、と思った。周りの先生方から教えて頂きながら、あらゆる方法で生徒に関わってみる。うまくいかなければ別の方法を試す。今はその試行錯誤の繰り返しである。

は、私に大きな力を与えてくれた。私も負けないように、教師として、人として成長していきたい。

朝の楽しみ



中内町論 池田 平 教諭

今年度、新規採用教員として、内子町立内子中学校に勤務させていただいております。教員として働き始めてからの生活は、去年までの大学生活と一八〇度変わって、最初は戸惑うことばかりでした。講師経験がないこともあり、何もかもが初めて経験することばかりで、毎日授業準備に追われ、それに加えて部活動、学校行事、そして初心者研修などの慌ただしい毎日を過ごしていると、時間が経つのが本当にあつという間に感じられました。

私の一日は、毎朝の清掃活動から始まります。教頭先生と一緒に校門付近の掃除をしながら、登校してくる生徒たちを挨拶するのが日課になっていきます。これは四月からずっと続けていますが、秋

一年を振り返って



小永近論 船田 明子 教諭

に入ると落ち葉が増えてきて、二人だけで掃除をするのはかなり大変な作業でした。そんなある日、三年生の男子生徒三名が突然私の所に来て、「先生、僕たちも朝の掃除を手伝わせてください！」と自主的に参加してくれるようになりました。そしてその輪はさらに広がり、現在では毎朝六名の生徒たちと一緒に掃除を行っています。生徒たちの自主的な行動に日々感謝するとともに、彼らとの朝の活動は、私にとってかけがえない時間となっています。これが、私の朝の楽しみです。

この一年を振り返ると、毎日が失敗の連続でした。特に年度当初は、一日を終えるうすればいいんだらう」と自分の力のなさを痛感し、落ち込むことばかりでした。しかし、そんな時、いつも周りの先生方が親身になって話を聞いてくださり、励ましてくだ

さいました。そのおかげで、「よし、今日はうまくいかなかったけど、明日は今日の失敗を生かして頑張ろう」と、前向きな気持ちになることができました。初めて学級担任となり、戸惑うことばかりで、私は、先生方に分からないことをその都度質問しました。しかし、どんなに忙しいときでも、嫌な顔をせず、一つ一つ丁寧に教えていただきました。そんな温かい先生方のおかげで、どんなに落ち込んでも、くじけることなく、今日までやって来られたのだと思います。先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。

「教師」という仕事は、子どもたちの命を預かるとしても責任ある仕事です。人間同士のかかわりなので、思うようにはいかないことや予期せぬことだらけです。しかし、未来を担う子どもたちを育てるというやりがいのある仕事です。これからも、悩みながらも子どもとともに成長していきたい教師でありたいと思います。



積立年金制度

明治安田生命は、みなさまとのよりよいコミュニケーションづくりに全力をつくしてまいります。

(制度引受幹事会社)

明治安田生命

四国公法人部 〒760-0017 高松市番町1-7-5
法人営業部 TEL087-821-6811



俳画・水墨画教室 佐野 妙子 作

ふるさとスケッチ

No.397

皿ヶ峰



東温市重信中教諭 安部 雅子

皿ヶ峰は、山頂近くにお皿のような平坦地があることが山名の由来とされています。確かに、重信中学校からの眺めは、まさしく「てっぺんが平たいお山」。四季折々の楽しみがあり、多くの登山者が訪れる身近で親しみやすい山です。私個人がおすすめるのは、登山口にある風穴。四季を通じて岩の隙間から冷気を



吹き出していて、夏になると外気との温度差により神秘的な霧が発生するのです。夏の猛暑を吹き飛ばしてくれる、不思議な癒しのパワースポットです。

ご冥福をお祈りします

伊藤 深様	98歳	松山市上市一丁目一七	28	12	2
鋒岩 庄市様	80歳	東温市横河原三九七	28	12	8
馬淵 章夫様	72歳	西条市丹原町池田六〇三	28	12	8
石崎 蕊様	90歳	松山市志津川町六一	28	12	9
土居 清人様	81歳	西予市宇和町山田七五七二	28	12	14
山上 進様	91歳	四国中央市土居町中村三六八一	28	12	14
高橋多鶴子様	90歳	新居浜市大生院六一〇	28	12	17

お知らせ

◆俳画・水墨画教室の活動について

愛媛県教育会「俳画・水墨画教室」は、大倉可貴先生のご指導の下、十名の受講生で活動しています。

毎月二回（第一・第三木曜日の午前十時～十二時）和気あいあいの雰囲気の中で作品制作に頑張っています。

完成した作品は、本報で紹介したり、当会館のロビーに展示したりしていますから、どうぞご覧ください。

興味のある方は遠慮なく、左記までご連絡ください。

【お問い合わせ】

愛媛県教育会事務局

(☎〇八九・九四五・二五一二)

◆図書室から

文教会館一階に図書室があることをご存知でしょうか。

ここには「愛媛こどものための伝記」(全二〇巻)をはじめ、教育会が発刊した書籍、

会員各位から御寄贈を受けた書籍や資料等、愛媛ならではの書籍がたくさんあります。

中でも愛媛県内で発刊されている俳誌は、現在毎月七誌の寄贈を受けており、バックナ

ンバーがそろっています。また、日本連合教育会傘下の各県教育会等からも機関誌の寄贈を受けており、各地域の教育の状況を知る良い資料となっています。

図書室はどなたでも御利用いただけます。会合等で文教会館にいらつしやうた際には是非お立ち寄りいただければと存じます。

◆寄贈図書

『子規会誌』一五〇号
発行者 松山子規会
寄贈者 井手康夫氏
(松山子規会会長)



平成二十九年は子規生誕百五十年、「子規会誌」は今年百五十号。
記念特集号として全国各地からの寄稿により編集した。

◆文教ロビー展

会館一階ロビーにおいて、「河東碧梧桐の書」を展示中です。二月末までお楽しみいただけます。お越しくださいませ。

新・海外旅行保険 のご案内

インターネット契約!

行き先別リスク細分型保険料!

インターネット加入保険料割引例 54%OFF!!

ご興味のある方は、愛媛県教育会ホームページをご覧ください。リンク先の提携代理店(四国ジャパン株式会社)ホームページからお手続きできます。

(※)割引率は、損保ジャパン日本興亜店頭商品との比較によるものです。お申し込みいただく条件により割引率は異なる場合があります。

損害保険ジャパン日本興亜株式会社 (SJNK16-12681 2016.11.30)

お得な引越のご案内

愛媛県学校生活協会は(株)サカイ引越センターと提携しております。学校生活協組合員様とご家族の方の引越は、引越の基本料金から20%割引致します。

お見積りは無料です。



組合員様の異動や、子供さんの進学・就職の際には是非ご利用下さい!

お問い合わせは
愛媛県学校生活協同組合連合会
電話 (089) 925-0555
または 郡市学校生活協同組合